

小城市立岩松小学校
学校だより 第6号



岩松小だより

令和7年5月9日発行
発行者 校長 真子靖弘

5月の校長講話

5/1(木)、全校集会を体育館で実施し、その中で、校長講話も行いました。今回の講話のテーマは「**よりよい学びとは？**」でした。学習や学級の取り組み、児童会活動などに**どのような姿勢で取り組むかで、学びの質が変わる**ことを話しました。

〈校長講話の要旨〉

先生から教えてもらったことを覚えるだけで満足せずに、自分から積極的に考えたり、調べたりすることが大切。また、ちびまるこちゃんに出てくるたまちゃんみたいに「**なぜ？**」と問い、自分で深く掘り下げていき、納得解を見つけるという思考も大切。



また、最後に、今年度は、代表職員で話し合う**運動会企画委員会と卒業式企画委員会に児童代表も出席し、意見を述べる機会を設ける**ことを伝えました。これは、何回も申し上げているように、学校は小さな社会であり、この小さな社会の主人公である子どもたちに、**自分たちのことは自分たちで民主的に決める**という経験をたくさん積み重ねてほしいという考えからです。誰もが Well-being を感じる運動会、卒業式を子どもたちと考えていきたいと思えます。

子どもの問いと感想(私の回答と感想を含め)を紹介します。

受動的な学びは、よりよい学びじゃなくても学びには入りませんか？【3年】

→はい。学びには入ります。

もう6年生だけど、改めて先生から聞いたことだけを覚えるんじゃなく、自分から積極的に考えて行動することが大切なんだと思いました。【6年】

→何事も、自分で考え、判断、行動することを大切に。

地域に感謝を伝える

4/18(金)、放送・環境委員会が**プランターで育てたお花**を岩松保育園と岩松支館に**届けました**。**榎原園長**先生から感謝状を授与されました。



1年生を迎える会

5/2(金)、「**1年生を迎える会**」を開催しました。**企画運営委員会**が会を担当しました。

〈プログラム〉

- 1 1年生入场
- 2 はじめのことば
- 3 岩松小三択クイズ
- 4 プレゼント渡し
- 5 1年生から
- 6 1年生の先生のお話
- 7 感想交流
- 8 終わりのことば

手作りのカブトやチューリップ等



今年の「**岩松小クイズ**」も「**プレゼント**」も**創造力**を働かせたものになっていると感じました。1年生に「岩松小のことを知ってもらいたい」、「大歓迎しているよ」といった温かい気持ちが現れていました。

〈岩松小三択クイズ〉

Q: 1年生の担任の先生の名前は何ですか？

Q: 廊下はどこを歩きますか？

Q: 実際にある教室はどれですか？

Q: 自転車に乗るときにかぶるものは何？

Q: 1年生の人数は何人ですか？



最後に「**1年生から**」では、1年生一人一人が名前と好きなものを紹介しました。ゲームや食べ物、遊び、色等、様々な好きなものが飛び出してきました。

今後も、子どもたちの創造的な活動が楽しみです。

プールの件

4/27(日)開催の**育友会総会**の中で、本校の「プールを改修工事し、使用することはできないのか」というご質問を受け、市教委に尋ねました。岩松小と三里小のプール授業を民間委託した主な理由は、①プール施設改築・維持管理コストの削減、②教職員の負担軽減ということでした。**50年スパンで考えた場合、改修費より委託料の方が圧倒的に低いという試算結果**でした。ご理解の程、よろしくお願いいたします。